

『紫式部日記』

・作者：紫式部

中宮彰子に仕えた折の宮廷生活の記録。華麗な宮廷行事と、それに同化できぬ本人の精神のあり方を凝視している。後半の書簡体の部分には、同輩女房(和泉式部・赤染衛門・清少納言など)への厳しい批評が見られる。

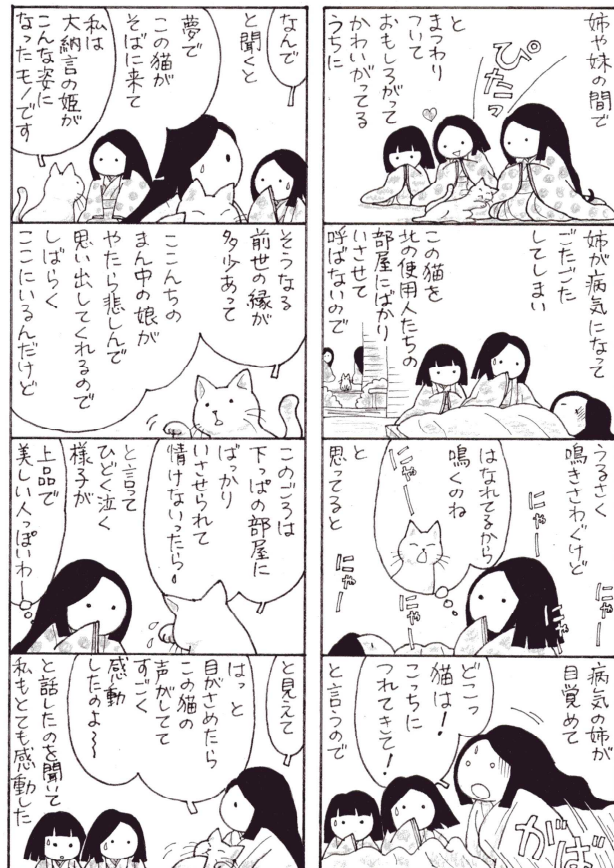
- ・成立時期：寛弘七(一〇一〇)年頃成立。
- ・ジャンル：日記

『更級日記』

・作者：菅原孝標女

少女時代から『源氏物語』に限りない憧れを抱きつつ成人した菅原孝標女。関東から京への旅、『源氏物語』とのめぐり会い、夢とほど遠い結婚生活の中で夫に先立たれた後、信仰の世界に魂の安住を求める生涯の回想日記。叔母道綱母の影響がある。

- ・成立時期：康平三(一〇六〇)年頃成立。
- ・ジャンル：日記



『讃岐典侍日記』

・作者：藤原長子

上巻は堀河天皇の発病・崩御を目のあたりにして、下巻は鳥羽天皇について藤原長子が記した。

- ・成立時期：一一〇九年ごろ
- ・ジャンル：日記

※日記の覚え方

「と・かげ・の・いずみ・は・むらさき・で・さらしな・さぬき・けんれいもん・いざよひ・とはず」

土佐日記→蜻蛉日記→和泉式部日記→紫式部日記→更級日記→讃岐典侍日記→建礼門院右京大夫集→十六夜日記→とはずがたり